

科目名 写真表現演習

No.	到達目標	評価基準				
		S (極めて高い水準で達成している)	A (高い水準で達成している)	B (標準的な水準で達成している)	C (最低限の水準で達成している)	D (未達成である) 1つでもあてはまれば不合格
1	スタジオ空間において、定常光を用いた立体物の撮影ができる (C-2)	的確な意図に応じて対象物の特徴を生かす撮影空間を構築すると共に、照明方法を創意工夫し、深く主題追求して創造的に撮影・制作することができる。	意図に応じて対象物の特徴を概ね生かす撮影空間を構築すると共に、照明方法を創意工夫し、主題追求して概ね創造的に撮影・制作することができる。	意図に応じて対象物の特徴を生かす撮影空間を構築すると共に、照明方法を工夫し、撮影することができる。	対象物の特徴を生かす撮影空間を構築すると共に、基本的な照明方法を用いて撮影することができる。	基本的な照明方法を用いて撮影することができていない。
2	大型ストロボの操作を理解し、これを用いた人物撮影ができる (C-2)	的確な意図に応じて対象人物の特徴を生かす撮影空間を構築すると共に、大型ストロボを用いた照明方法を創意工夫し、深く主題追求して創造的に撮影・制作することができる。	意図に応じて対象人物の特徴を概ね生かす撮影空間を構築すると共に、大型ストロボを用いた照明方法を創意工夫し、主題追求して概ね創造的に撮影・制作することができる。	意図に応じて対象人物の特徴を生かす撮影空間を構築すると共に、大型ストロボを用いた撮影・制作をすることができる。	対象人物の特徴を生かす撮影空間を構築すると共に、大型ストロボを用いた基本的な照明方法を用いて撮影することができる。	大型ストロボの操作を理解しておらず、これを用いた人物撮影ができていない。
3	制作意図に応じた画像処理を行うことができる (C-2)	的確な意図に応じて対象画像の特徴を生かすとともに、適切な画像処理技術を用いて、深く主題追求して創造的に表している。	意図に応じて対象画像の特徴を概ね生かすとともに、適切な画像処理技術を用いて、概ね創造的に表している。	意図に応じて対象画像の特徴を生かすとともに、適切な画像処理技術を用いて、創造的に表そうと努めている。	対象画像の特徴に応じて、必要な画像処理技術を用いて、制作意図を表そうと努めている。	制作意図に応じた画像処理を行うことができない。
4	制作意図について説明することができる (C-2)	目的や条件、美しさなどを考え主題を創造的に生成し、機能や効果、表現形式の特性などについても深く考え、創造的な表現の構想を伴う制作意図についての的確に説明できる。	目的や条件、美しさなどを考え主題を創造的に生成し、機能や効果、表現形式の特性などについても概ね考え、創造的な表現の構想を伴う制作意図について概ね説明できる。	目的や条件、美しさなどを考え主題を創造的に生成し、機能や効果、表現形式の特性などについても考えようとして、創造的な表現の構想を伴う制作意図について説明できる。	機能や効果、表現形式の特性などについても考えようと努め、創造的な表現の構想を伴う制作意図について説明できる。	制作意図について、説明することができない。